

2006年5月8日

報道関係者各位

分子機能研究所 (Institute of Molecular Function) が、疾患に関わるタンパク質の立体構造のみから、その疾患に対する医薬候補化合物を高精度に予測できる世界初の革新技术を開発

分子機能研究所 (Institute of Molecular Function)

分子機能研究所 (<http://www.molfuction.com/jp/>) は、タンパク質の立体構造 (座標データ) のみから医薬候補化合物などが作用するタンパク質上の作用部位を正確に予測し、かつその作用部位に作用して効果を発揮する医薬候補化合物の骨格形状および化学的特徴をも高精度に予測して視覚化する革新技术を開発いたしました。

さらに、上記情報を利用して膨大な天然および合成化合物の中から疾患に関わる特定のタンパク質に対する医薬候補化合物を探索、設計できる技術も同時に開発いたしました。

分子機能研究所が世界に先駆けて開発に成功いたしました本革新技术は、現在世界中で国家プロジェクトとして研究が進められている次世代技術の一つでもあり、新薬開発研究においては大幅な開発コスト、時間の削減に貢献できるものと考えられます。

分子機能研究所は、本革新技术を搭載した創薬支援システムを近く発表する予定であり、今後製薬メーカーなどにライセンスしていく予定です。

会社名：分子機能研究所 (Institute of Molecular Function)

代表者名：辻 一徳

連絡先：〒341-0037

埼玉県三郷市高州 4-8-1 木下コーポ 202

TEL：048-956-6985 FAX：048-956-6985

E-Mail：motonori@molfuction.com

担当者：辻 一徳 (ツジ モトノリ)